



平成26年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 ヒラキ株式会社

コード番号 3059

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治

TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,625	△8.7	236	△16.8	264	86.0	160	78.1
25年3月期第2四半期	10,548	△4.3	284	△30.3	142	△50.2	90	△42.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期△21百万円 (一) 25年3月期第2四半期17百万円 (△75.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	32	97	—	—
25年3月期第2四半期	18	63	18	45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第2四半期	17,720		4,509		25.4	
25年3月期	16,095		4,579		28.5	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,509百万円 25年3月期 4,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00	
26年3月期	—	10 00				
26年3月期(予想)			—	10 00	20 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	20,000	△3.1	700	19.0	600	12.5	330	0.6	67	61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期第2Q	5,155,600株	25年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	26年3月期第2Q	274,630株	25年3月期	274,600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期第2Q	4,880,996株	25年3月期第2Q	4,850,837株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、輸出の持ち直し、各種政策効果が、企業収益、雇用情勢の改善につながり、緩やかに回復する動きがみられました。しかしながら、靴業界におきましては、依然、消費者の節約志向が続いており厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、商品開発・販売促進・商品管理の各業務を一体化させた新組織体制のもと、自社開発商品に対する社内での評価体制の強化、ディスカウント店舗との情報共有による売れ筋情報の収集機能の強化、顧客購入分析の徹底、さらに生産体制(協力工場管理)の強化を通じて「商品力の強化」に取り組み「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける新商品を順次投入いたしました。具体的には、秋の彩りに合わせた5色のスエード調で展開する『499円 レディースカジュアルシューズ』が5万足を超える販売数となりました。また、7色のカラーバリエーションとジュニアからレディースまでサイズを展開し親子で楽しめる『1,029円 ショートボアブーツ』、人気のバイカラーを採用した『1,029円 レディースカジュアルシューズ』も秋のカタログから大好評頂いております。また、一方で、強化された商品力を広く認知して頂くために、無料設置カタログの増設、WEB広告の強化などを通じて新規顧客の開拓に取り組みました。

ディスカウント事業におきましては、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指し、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての差別化を図るため、圧倒的な安さを実現した自社開発商品を、靴をはじめ、衣料、日用雑貨においても展開してまいりました。また、『特価大商談会』の定期的な開催、および新規仕入先の開拓についても継続的に取り組み、収益性の改善に努めてまいりました。

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の配布先を第2四半期連結会計期間においてさらに増加させ、収益性の確保を図りながら量的拡大に向けての取り組みを強化いたしました。

このような取り組みにもかかわらず、第1四半期連結会計期間における通信販売事業の低迷、および不採算店舗であった氷上山南店を昨年10月末に閉店したことによる売上高の減少が影響し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は96億2千5百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における「仕入先政策の強化」による粗利率の改善、不採算店舗の閉店による収益力の強化に取り組み、第2四半期連結会計期間における営業利益は改善いたしました。第1四半期連結会計期間の低迷を補うまでには至らず、当第2四半期連結累計期間における営業利益は2億3千6百万円(前年同四半期比16.8%減)となりました。なお、経常利益については、円安傾向による為替差益の増加などにより2億6千4百万円(前年同四半期比86.0%増)、四半期純利益は1億6千万円(前年同四半期比78.1%増)となり、増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品開発体制の強化により、新商品をタイミングよく投入したことで、秋冬商品の受注が順調に推移し、第2四半期連結会計期間の売上高は上向きに転じましたが、第1四半期連結会計期間の低迷を補うまでに至らず、第2四半期連結累計期間における売上高は47億5千4百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。利益面では、物流業務の効率化に引き続き取り組み、第2四半期連結会計期間において収益は改善いたしましたが、第1四半期連結会計期間の不振、新規顧客獲得強化の施策などから、第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益（営業利益）は4億2千万円（前年同四半期比18.5%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、氷上山南店の閉店の影響などにより、売上高は46億6千1百万円（前年同四半期比12.3%減。なお、閉店を除く既存店では4.4%減）となりました。利益面では、仕入先政策の強化や自社開発商品の拡販などによる粗利率の改善、および不採算店舗の閉店などにより、セグメント利益（営業利益）は2千3百万円（前年同四半期は1千7百万円の損失）となり、営業損失から脱して黒字化することができました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、第2四半期連結会計期間においても大口OEM販売先について取引が伸び悩む傾向が継続し、売上高は2億9百万円（前年同四半期比21.6%減）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同四半期比49.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、17億4千2百万円増加し、103億7千9百万円となりました。これは、現金及び預金が21億5千9百万円増加し、商品が1億4千6百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億1千6百万円減少し、73億4千万円となりました。これは、建物及び構築物が1億8百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、16億2千5百万円増加し、177億2千万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、9千9百万円増加し、44億1千7百万円となりました。これは、買掛金が1億1千万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が3億3千2百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、15億9千6百万円増加し、87億9千4百万円となりました。これは、長期借入金が16億1千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、16億9千5百万円増加し、132億1千1百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、7千万円減少し、45億9百万円となりました。これは、利益剰余金が1億1千2百万円増加し、繰延ヘッジ損益が1億9千万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント減少し25.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ4億5千7百万円減少し、18億8千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億7千4百万円(前年同四半期は1億5千6百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億6千4百万円の計上、たな卸資産の減少1億9千万円、法人税等の支払額1億6千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、26億4千2百万円(前年同四半期は2億1千8百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出26億2千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、18億7千6百万円(前年同四半期は10億7千1百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入32億円、長期借入金の返済による支出12億5千5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想に関しましては、本日別途開示の「業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,342,805	4,501,875
受取手形及び売掛金	1,020,226	1,041,283
商品	4,512,870	4,366,318
未着商品	119,289	75,393
貯蔵品	17,029	16,769
繰延税金資産	—	41,024
その他	646,025	360,644
貸倒引当金	△20,598	△23,466
流動資産合計	8,637,649	10,379,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,736,140	3,627,646
土地	3,321,205	3,321,205
その他(純額)	220,625	203,431
有形固定資産合計	7,277,970	7,152,284
無形固定資産	38,273	43,099
投資その他の資産	141,116	145,193
固定資産合計	7,457,360	7,340,577
資産合計	16,095,009	17,720,419
負債の部		
流動負債		
買掛金	928,772	818,528
1年内返済予定の長期借入金	2,179,671	2,512,262
未払法人税等	176,527	100,145
繰延税金負債	57,463	—
賞与引当金	158,818	157,173
役員賞与引当金	—	3,812
ポイント引当金	34,448	34,801
その他	782,296	790,489
流動負債合計	4,317,999	4,417,213
固定負債		
長期借入金	6,889,255	8,501,124
退職給付引当金	90,902	99,155
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	29,835	30,105
その他	174,208	150,182
固定負債合計	7,197,769	8,794,137
負債合計	11,515,768	13,211,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	2,758,136	2,870,230
自己株式	△143,552	△143,570
株主資本合計	4,214,026	4,326,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,680	4,399
繰延ヘッジ損益	355,619	165,065
為替換算調整勘定	4,913	13,500
その他の包括利益累計額合計	365,214	182,966
純資産合計	4,579,240	4,509,069
負債純資産合計	16,095,009	17,720,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,548,253	9,625,734
売上原価	6,491,764	5,701,456
売上総利益	4,056,488	3,924,277
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,139,599	1,128,286
貸倒引当金繰入額	6,230	11,031
ポイント引当金繰入額	24,104	23,399
給料手当及び賞与	1,052,548	1,006,023
賞与引当金繰入額	162,934	157,173
その他	1,386,433	1,361,416
販売費及び一般管理費合計	3,771,849	3,687,331
営業利益	284,638	236,946
営業外収益		
受取利息	2,798	1,482
受取配当金	899	972
為替差益	—	47,564
その他	18,800	45,197
営業外収益合計	22,498	95,217
営業外費用		
支払利息	68,208	63,118
為替差損	96,246	—
その他	499	4,576
営業外費用合計	164,955	67,695
経常利益	142,182	264,468
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,640	—
特別損失合計	4,640	—
税金等調整前四半期純利益	137,542	264,468
法人税、住民税及び事業税	34,144	91,290
法人税等調整額	13,037	12,274
法人税等合計	47,181	103,564
少数株主損益調整前四半期純利益	90,360	160,904
四半期純利益	90,360	160,904

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,360	160,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,635	△280
繰延ヘッジ損益	△71,581	△190,554
為替換算調整勘定	490	8,587
その他の包括利益合計	△72,726	△182,247
四半期包括利益	17,634	△21,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,634	△21,343
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,542	264,468
減価償却費	175,325	158,778
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,274	2,868
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,285	△1,644
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,562	3,812
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	536	352
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	4,640	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,376	8,253
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△2,210	—
受取利息及び受取配当金	△3,698	△2,455
支払利息	68,208	63,118
為替差損益 (△は益)	52,588	△26,154
売上債権の増減額 (△は増加)	124,976	△19,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108,881	190,707
仕入債務の増減額 (△は減少)	△174,943	△114,042
その他	△135,977	△24,625
小計	149,057	503,489
利息及び配当金の受取額	2,909	2,338
利息の支払額	△68,194	△64,495
法人税等の支払額	△240,622	△166,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156,850	274,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,600	△2,620,100
定期預金の払戻による収入	—	3,100
有形固定資産の取得による支出	△16,178	△20,724
無形固定資産の取得による支出	—	△4,176
投資有価証券の取得による支出	△1,563	△1,624
その他	△226	1,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,568	△2,642,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	—
長期借入れによる収入	2,800,000	3,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,078,465	△1,255,540
自己株式の取得による支出	△6,805	△18
ストックオプションの行使による収入	25,850	—
配当金の支払額	△47,965	△48,880
その他	△21,226	△18,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,071,386	1,876,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,441	32,766
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647,526	△457,930
現金及び現金同等物の期首残高	1,565,278	2,339,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,212,804	1,881,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,967,295	5,313,920	267,037	10,548,253	—	10,548,253
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,967,295	5,313,920	267,037	10,548,253	—	10,548,253
セグメント利益又は損失 (△)	515,802	△17,154	18,813	517,460	△232,821	284,638

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,821千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,754,932	4,661,483	209,318	9,625,734	—	9,625,734
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,754,932	4,661,483	209,318	9,625,734	—	9,625,734
セグメント利益	420,469	23,459	9,554	453,483	△216,537	236,946

(注) 1 セグメント利益の調整額△216,537千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。